

牛久：学校周辺に見る自然

第54号 牛久二小

2013年2月23日発行

＜冬の校庭でさがしてみよう！（動物編）～③フィールドサイン＞

1/25、牛久二小4年2組との校庭の動物観察。今回は教科書にもある「フィールドサイン」。フィールドサインとは、糞ふんや足あと、食べあと、モグラ塚つかなど動物が生活していたせきこん跡をいいます。



降雪の2日後、こおりついたピオトープ池と、雪におおわれた校庭（1/16）。

雪の2日後、ピオトープの池はこおりつき、校庭はまだ大部分が雪におおわれていました。こんな中で活動している動物もいるのでしょうか？



雪の上につづいていたイヌの足あと。縦の長さと横幅がほぼ同じで、まるみを帯びた形が特ちょう。写真左に進む

前号では、この日に見られた冬鳥、アオジとツグミの紹介しょうかいをしましたが、雪の上にも動物の足あとが…。どうやらイヌのようです。縦の長さたてと横幅よこはばがほぼ同じで、まるみを帯びた形が特ちょうです。あとは、鳥の糞ふんなどが見つかりましたが、それ以外に動物の生活のあとは見つかりませんでした。でもみんなで探せば、いろいろ出てきたかもしれませんね。



こちらは、牛久自然観察の森で同じ日に写した野ウサギの足あと。どちらに進んでいたか分かりますか？野ウサギの後足あとごそくあとは前足あとまへそくあとよりずっと大きく、ジャンプして移動いどうするために、後足は前足を追おい越してほぼ左右ひだりに並びます。だから写真では左に向かって進んでいたことになりすね。

雪の上につづいていたノウサギの足あと。
1/16 牛久自然観察の森。



ぬかるんだ校庭につづくイヌの足あと。写真の左に向かって進んでいる。

さて、観察日にもイヌの足あとを見つけましたね。イヌは前半身が大きく後半身は細いので、前足あととは後足あとより少し大きくなるそうです。上の写真では、どうでしょうね。



ぬかるんだ校庭にまっすぐにつづくツグミ?の足あと。写真の左に向かって進んでいる。

ほぼまっすぐに続いている鳥の足あともを見つけましたね。形や大きさからみてツグミかその仲間でしょうか。



イヌ?がタケの根もとに掘った穴（左）と、アメリカザリガニがビオトープの池に掘った穴（右）。

最後に、動物が掘った穴を二つ。左はたぶんイヌだと思いましたが、タケの根もとを掘ったあとがありました。何かえさになりそうなものがいたのでしょうか？右はビオトープの池で見つけてくれたアメリカザリガニの掘った穴です。きっとこの穴の奥で、ザリガニは冬眠しているのでしょうか。穴をあけると池の水が抜けてしまうので困りものですが。

【理科支援員 宮内】